

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

地域医療への貢献を通じ、地域社会のすべての人々の健康と豊かな生活に貢献すること

② 中長期の経営戦略

1. 顧客価値の最大化

首都圏を中心に、ASOURCE®DATABASE等のソリューションツールを組み合わせた総合的な提案。急性期医療・低侵襲手術分野への営業強化。ASOURCE®SELECTの製品拡充。

3. 人的資本強化

従業員が最良のパフォーマンスを発揮できる環境整備。働き方改革に向けた業務環境の改善

2. M&Aとアライアンスの推進

継続的なM&A及びアライアンスにより事業規模拡大と人材獲得。グループ内連携強化とソリューションツールの活用。売上原価率低減とIT・物流業務の効率化。DX推進によるシナジー創出

4. 経営体制の強化

リスク管理・コンプライアンス体制及びコーポレート・ガバナンスの強化。ESG・SDGs取り組みの推進。透明性・健全性の高い経営体制の構築

③ 対処すべき課題

① 医療機関の経営環境の厳しさ

- ・診療報酬見直しによる利益率低下への対応
- ・医師の働き方改革による人手不足への対応
- ・資源高騰・円安による物価上昇への対応

② 業界の合従連衡加速

- ・大手ディーラーへの取引先集約動きへの対応
- ・企業規模・商圏拡大の必要性
- ・中小企業多数の業界での競争激化

③ 医療提供体制の再構築

- ・新型コロナウイルス感染症対応の教訓活用
- ・いかなる状況にも対応した体制整備
- ・機能的で持続可能な供給体制の構築

面で使えるポイント

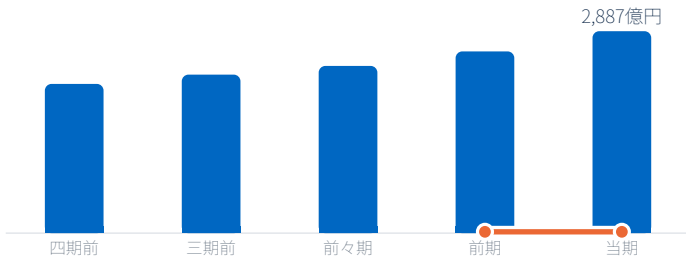
- ・東京都を中心とした首都圏で、ASOURCE®DATABASEやSURGELANE®といった独自ソリューションを軸に医療機…
- ・診療報酬引き下げや医師の働き方改革等の厳しい経営環境下で、医療機関の経営課題を解決するサービス提供に力を入れている点
- ・M&Aやアライアンスによる事業拡大と、DXやPMIを通じたシナジー創出で安定的成長を目指す経営戦略

メディアスホールディングス株式会社

卸売業 | プライム（内国株式） | 決算期 6月30日 | 連結…

証券コード 3154

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,887億円

営業利益率
0.6%

財務健康度
19点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 51.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
648万円

卸売業内 172位/282社

平均年齢
40.0歳

卸売業内 215位/283社

平均勤続
5.0年

卸売業内 270位/282社

女性管理職
14.8%

卸売業内 41位/209社

男性育休
50.0%

卸売業内 136位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

要するに

医療機器の販売・メンテナンス事業と介護福祉機器
の販売・レンタル事業を主力事業とす

主力事業・セグメント

- ・医療機器Sales 97.9%
- ・NursingWelfare 2.1%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,887億円の事業規模
- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

